

園芸科学科講座Vol.5 ランの交配

ランの種、みなさんは見たことがありますか？
一般的な草花のように袋詰めされて売っている・・・
のは見ませんよね。



❁3年生の皆さんは、去年「シラン」というランを無菌播種しましたね。
(え、そんなの「知らん」って?)

❁あのホコリのワタのような種子のかたまり、そして目をよく凝らさないと見えない1粒の小さな種子、思い出しました？

ランの花の中央に「ずい柱」という器官があります。
(2年生、「植物バイオ」の教科書85ページを見てくださいね。)

このランはコーラルトロ
ン・ビコルナタム。
熱帯アメリカ原産。



ずい柱の先端部にある白い帽子のようなもの(やく帽、写真左)を取ると、下から花粉塊が出てきます(写真右)



花粉塊を柱頭につける

花粉塊をピンセットの先につけて、ずい柱の柱頭にこすりつけます。

これで交配完了！

❁そうです、ずい柱は一般的な草花の雄しべでもあり、雌しべでもある、とてもユニークな器官なのです。
ランは変わり者ですね。

❁交配が成功するとさやができます。
一つのさやの中にはなんと数百万粒以上(!)
の種子が入っています。
ですが、一般的な草花のように
ポット植えしても発芽はしません。
(2年生、理由は教科書82ページです。)

❁そこで、バイオの技術、「無菌播種」の登場です。
今回はここまで。
恒温室では無菌播種して育てた様々なランが大きくなっています。



先輩が交配し無菌播種したランを、2年生が昨年順化した苗。